

INTERNET YELLOW PAGES



Volume 1: Music

METVERSE

ACCESS to <http://metaverse.com/>

インターネットで何が可能かを広く知らしめた「インターネットの“MTV”」。 「Metaverse」と改称したが、内容は相変わらずバクレツ中。



「Metaverse」の名前は知らなくても「MTV」を知らない人はいないだろう。80年代初めに米国でスタートした24時間音楽専門のCATVチャンネルで、日本でもCSを通じて放送されている。インターネットの存在に初めてマスメディアのスポットライトが当てられたころ、その応用の可能

性を最も顕著に示す例として取り上げられたのが、アダム・カーリーが運営するインターネット上の「MTV」だった。アダム・カーリーはアメリカ生まれだが、長くヨーロッパに滞在してラジオやTVの音楽番組のDJとして活躍した。87年にアメリカに戻り、MTVの「トップ20カウントダウン」のVJ（ビデオジョッキー）やインタビュアーとして活躍した。MTVのVJであったアダム・カーリーはインターネット上に「MTV」と称するポップミュージックを専門としたWWWのサイトをオープンし、これがインターネットコミュニティで大きな評判をとるとともに、マスメディアを通じて広く紹介された。しかし、世間一般に知られるようになったことから、その名称の使用権をめくって“本家MTV”側から訴訟を起こされ、結局その名称を「Metaverse」と変

えざるを得なかったのである（実は「MeTaVerse」という名前の中には見事に「MTV」が隠されているのだが……）

アダム・カーリーはMTVのVJを辞めた後も、全米をネットするFM音楽番組のDJとして、あるいは一般視聴者向けのポップミュージックにとどまらず、「レイブ」といったテクノ系のミュージック・シーンにも進出しながら活躍を続ける一方、「Metaverse」の運営を続けている。

この「アダム・カーリーのフェイバリットページ」では「NCSAの“What's New With the Web”」や「Global On-Line Directory」といったインターネットならではのサービスへのリンクのほか、アダム・カーリーの選んだ数多くのアーティストのページや「音楽の検閲」などの社会問題を扱ったページ、著名アーティストをフィーチ



チャーした他のWWWサーバへのリンクが設けられている。

ちなみに、インターネット上のアーティストに関する情報は、各アーティストごとにさまざまな形式で構成されているので、一般にどのようなスタイルになっているかは解説しづらいが、多くの場合「ディスコグラフィック」、「ツアー情報」、「インタビュー」、「ニュース」(以上のものは写真やCDジャケット、イラストなどの画像付きのものも多い)を中心に、「歌詞」や「曲の解析」、「ギターのコード進行」までが収録されているものもある。こうした内容は、大

学生など、インターネットユーザーが「ファンクラブ」のノリで作っているものが多いが、中には既成のマスメディアではお目にかかれない力が入った裏情報(たとえば、アーティストやレコード会社のプレス関係者へのインタビューの記録や噂話など)もあり、世界を相手にしたミニコミならではの面白さがある。

「Metaverse」本体の性格は“インターネットのMTV”あるいは“RollingStone誌”といった感じであり、オールラウンドに現在のポップシーンを押さえている。したがって、まずインターネット上の音楽関係の情報を探ってみようという人には最適な入り口と言えるだろう。もちろん、多様なリンクが用意されているので、ここからそれぞれの好みに応じて、よりマニアックなアーティストをフィーチャーしたページにジャンプすることも可能だ。

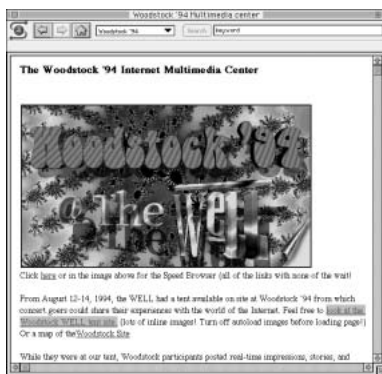
ところで、アダム・カリーをめぐる「MTV」騒ぎはインターネットのコミュニティでは格好の面白ネタとなっているよう

で、今は亡き「アダム・カリーのMTV」のパロディー版まで出現した。それが「マダム・ファリーのエンプティTV」だ。あるサイトの音楽ページでは「Metaverse」が「アダム・カリーの嫌々やっつてること」、「マダム・ファリーのエンプティTV」が「アダム・カリーが本当にやりたかったこと」と並べて置かれ、リンクされているといった状態。「我々のサイトは“ベスト・ウェブ・エクスペロアーション・サイト”賞にノミネートされました」から始まる「エンプティTV」は「ニュースはありませんが、年に一度コンサートスケジュールをアップデートします」といった人を食ったもの。もちろん「マダム・ファリー、エンプティTVを退職」、「エンプティTV、マダム・ファリーを訴える」といった、「インターネットMTV」騒動にからめたページや「ウェブガイド」、「お仕事紹介」、それにももちろん「ヒットチャート」や「ぶっとびリンク」も用意されている。オリジナル「MTV」を知らなくても、なかなか笑える内容だ。

Wood stock'94 もインターネットで WELL <http://www.well.com/woodstock>

今年夏、話題になったミュージックイベントといえば、8月にニューヨーク州サウガティで開催された「Woodstock '94」だろう。1969年に開催されたウッドストック・ミュージック・フェスティバルはその後「ウッドストック・ジェネレーション」という言葉を生んだほど、当時の若者文化を象徴する歴史的出来事として伝説となっている。その25周年を記念して開催された今回のコンサートは、ペプシなどの大スポンサーが付いたり、第一回とは大きく様変わりしているが、最も時代を感じさせるのは、このイベントが“メディア・イベント”化した点である。コンサートの模様はTV中継されたが(日本でもNHKのBSでオンエアされた)、イ

ンターネット上でもその模様が世界中に流された。窓口になったのは、カリフォルニア州のコンピュータ・コミュニティでインターネットIPの「WELL」。コンサート会場の「Internet Multimedia Center」と称したテントをベースに、



会場と世界各地を結ぶさまざまな試みを行った。まず、コンサート参加者が会場で撮影した写真などを持ち寄り、彼らのメッセージ(テキストや音声)とともにインターネット上の「デジタル・スクラップブック」に収録する。世界各地のインターネットユーザーはこの場でフェスティバルの模様を知ることができ、遠くはフィンランドやトルコのインターネットユーザーがこのスペースにリプライメッセージを送ったり、テント脇に設置された12フィートの大型スクリーン「International Relay Line」を通じて、会場にいる人々とチャットを楽しんだという。「Woodstock '94」を巡るこの模様は、後日CD-ROM化されて出版される予定だ。

IUMA

ACCESS to http://www.iuma.com/IUMA/index_graphic.html/

未来のスーパースターのデモミュージックを満載。音楽業界注目のオンライン・ミュージックマーケット。



明日のスターダムを夢見ながら、大手のレコード会社とまだ契約できないバンドのデモミュージックをアーカイブして提供しているのがIUMA (Internet Underground Music Archive) だ。

インターネットのユーザーは、さまざまなバンドのミュージッククリップ (約15秒間のデモ版から1曲まるごとまで) を聞いたり、バンドの写真、ジャケットデザインを見たり、バイオグラフィーやライナーノ

ーツを楽しんだりすることができる。一方、バンドは50ドルを寄付するだけで、全世界に2000万人以上いるとも言われるインターネットのユーザーに自分たちの存在をアピールすることができるし、ひょっとしたら新しい才能を求めているレコード会社と契約できるかもしれないのである。

最近ではレコード会社と契約前のアーティストのみならず、大手のレコード会社が新進アーティストの売り出しのためにクリップを送り始めているという。

収録されているミュージッククリップは、ホームページの先頭に「インターネットは今やパンクミュージックだ」というサンフランシスコ・エグザミネー紙の紹介文が引用されているように、当初は派手なものが多かったが、最近ではどんどんジャンルが多様化してきている。収録曲目は100を超える程度だが、昨年末にサービスを開始してからすでにアクセスは30万件を超えており、収録曲数も今後どんどん増やしていく

という。

IUMAに注目しているのは音楽業界の企業だけではない。多くのトップビジネス、テクノロジーやエンターテインメント系の出版社が新しい「オンラインマーケット」ビジネスの方向を示すものとしてIUMAの動きに注目しており、盛んに彼らを訪問しているという。

現在のところ、IUMAはサンマイクロシステムズなどの企業からのハードウェアやサイト使用権の提供、バンドや個人、企業からの寄付金で運営されているが、今後1年以内に企業化したいと考えている。また、彼らは同種のサービスをインターネット上で開始しようと計画しているインディペンデントのレコード会社へのコンサルティングなども行っているという。

ページのデザインも素晴らしく、数多いMosaicサーバの中でも最もポップで楽しい。インターネットのユーザーなら、まず一度は訪ねてみたいサイトの1つだ。

HYPERREAL

ACCESS to <http://hyperreal.com/>

「WIRED」誌のWebサーバ管理者がプロデュースする最新のミュージックムーブメント・アーカイブ。



「HYPERREAL」の主宰者ブライアン・ベレンドルフは、以前スタンフォード大学のサーバ内でテクノ/レイブ (Rave: ハウス系のハードコア・ビートミュージック) / アンビエント (Ambient: 元ロキシーミュージックのBrian Enoらの提唱した環境音楽っぽいコンセプトチャルなサウンド) の情報を提供していたが、大学の事情でサイトから切り離されることになった。そのため、彼がWebサーバを管理している「WIRED」誌のサイトで新しく開始したの

がこのサービスである。

彼のアレンジしたミュージック・アーカイブには「Rave Archive」や「Epsilon」 (マイクブラウンのプロデュースするアンビエント系を集めたアーカイブ)、ニューウェイヴ系雑誌の電子版、レビュー、サウンドサンプル、DJセット、シェアウェアなど、新しい音楽ムーブメント関連の情報が満載されている。「WIRED」以降の米国の新しいジェネレーションの動きに注目するなら、まずオススメのサーバだ。

HATER'S PAGE

ACCESS to <http://www.oci.uni-heidelberg.de/>

“internetholic”を自称するドイツ人がゴリゴリの趣味でコンポーズしたリンク中心のサーバ。その充実ぶりには要注目。



WWWのサーバには、リンクをうまく編集して自分の趣味や主義をアピールするものもある。他人のリソースへのリンクの束そのものが当人の趣味でまとめられ、ホームページを中心に展開される世界自体が価値を持つという意味では、音楽のDJに近いかもしれない。ここに紹介するアクセル・ガビット氏のサーバも、彼の強烈な個性で束ねられたインターネットワールドだ。彼のホームページには音楽以外にも多様で膨大な情報の世界への入り口が設けられている。チャンスがあれば、他のジャンルを覗いてみると意外なものを発見できるかもしれない。

以下に、彼の音楽ページで取り上げられているサーバを紹介する（注：本記事中の別の箇所に登場しているもの、接続できなかったものは省いた）。

Data Control

Usenetのalt.music.hardcoreの活動にアイソが尽きたpogo@wpi.wpi.edu氏が始めたバンクとハードコアのアーカイブ。主にファンクラブによるコンサートやレコードのレビュー、インタビューなどが収録されている。ただし取り上げられているのはカレッジ・ステーションでかけられるアンダーグラウンドのバンドが多く、日本で知られているものはほとんどない。このほ



かにも、「How to Build a Nuclear Bomb」「Bart Simpson Chalkboard Quotes」といったものもあって、いかにもハードコアなセンスがうかがえる。

XDZebra Techno Review

主にテクノ/アンビエント系のレコードのレビュー。こちらは割合日本でも馴染みのあるバンド名が並んでいる。

N-Fusion Records

サンフランシスコのトランス/ハウス系レーベルN-Fusion Recordが提供するサーバ。同レーベルの12曲がそれぞれ30秒程度収録されている（サイズ=250Kバイト）。

Music Resources

ダグラス・ストウン氏が収集したリンクだけで構成されているページだ。

音楽の学校関係ではIndiana University Music Library、University of Oregon、Leeds University、Virginia Tech、UC Berkeleyなど、音楽関係の研究機関ではMusic Brain Information Database、Ethnomusicology Research Digest、CAIRSS Music Database of Music Research Literatureなど。そのほか、個々のバンドのホームページや音楽関係のWWW Virtual Library、クラシックやジャズのインデックス、FTPサイトのリスト、音楽関係のNewsgroup、オンラインレコ

ード店、さらには最新の米国南東部の気象マップまでリンクされている。

Mammoth Meta Music

クラシックからポップ系、ジャズは言うに及ばず、アカペラ、インド音楽、中国音楽、ラテン、レゲエからユダヤ音楽まで、ありとあらゆる音楽に関する情報やレビュー、コンサートやラジオ局情報、MIDIやコンピュータ音楽情報へのリンクが張られている。

Jon Feinstein's Jazz o' House

ジャズのアーティスト別に構成されたサーバで、ユーザーはレコードジャケットを見ながらアーティストを選択し、共演者（担当楽器）のリストやコメント、さらに20~30秒程度の曲のサンプルを聞くこともできる（Jon本人の演奏もあり）

WNUR-FM Jazz Information Server

イリノイ州エバンストンのジャズ専門FM局WNURの協力の下に運営されているサーバ。

ジャズのチャートやレビュー、曲名の検索、ジャズの歴史、ライブのスケジュール、アーティストのバイオ、ハイパーテキストを使ったインプロビゼーション入門など盛りたくさんの内容。ジャズ関連の新しいリンクも整備されている。

Music Resources on the Internet

Indiana UniversityのMusic Libraryがまとめた音楽関係のリソースリストで、膨大な範囲をカバーするとともに非常によくメンテナンスされている。

あらゆる切り口から音楽関連の情報を探ることができるようにさまざまなカテゴリーが準備されており、ポピュラーミュージックのアーティスト別のサーバを探すなら、まずここにアクセスしてみるのがよいだろう（もちろん、他のサーバーからのリンクと重複しているものも多い）。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp